平生町立佐賀保育園

要覧



◆ 園の概要

設置主体　平生町
開　　設　昭和２８年５月１日　　昭和５０年４月１日　現在地に移転
定　　員　４０名

職　員	園　長	１名	３歳未満児担当保育士	２名
	３・４・５歳児担当保育士	４名	送迎添乗員兼保育士	２名
	遅番対応保育士	１名	調理員	２名
	送迎添乗員兼保育士補助員	１名		
	嘱託医（内科）	１名	嘱託医（歯科）	１名

◆ 対象年齢

・乳児（６ヶ月以上）　・０～２歳児保育　・３～５歳児保育
・一時預かり保育　・障がい児保育　・こども誰でも通園制度

＜保育時間＞

平　日　【保育標準時間】7：30 ～18：30　【保育短時間】 8：30 ～ 16:30
土曜日　 7：30 ～ 17：00（一日保育の場合は弁当、おやつ持参）

＜延長保育＞

平　日　 ７：００～７：３０、１８：３０～１９：００
※　有料　朝・夕どちらも 100 円　（例）7:00～19:00 の場合 200 円

◆ 保育料

３歳児以上は無料となります。

◆ 副 食 費　３歳児以上から毎月４，９００円

◆ 主 食 費　全員　毎月１，２００円

◆ 送迎車：運行　令和３年４月１日から運行

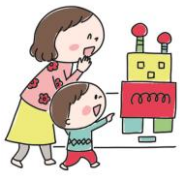
朝、夕　２便運行　　※ 利用者と運行時刻、運行経路等を決めます。
※　有料　2,000 円/月

【保育目標】

『 安心して生活する中で幼児期にふさわしい生活や遊びを通して、自ら友達や身の回りのことがらに意欲をもってかかわることのできる幼児の育成 』

―平生町立佐賀保育園のめざす子どもの姿―

○自分が好き（愛され認められている）
「ほめほめタイム」で認め合う
○思いを伝える
「あのねタイム」で自己表現
○思いやりの心
感謝の心をいっぱいに（ありがとう、ごめんなさい）
○自分の事は自分でする
みんなで、なかよし給食
○自分で判断し行動する
自己決定・自己選択の場を



＜保育方針＞

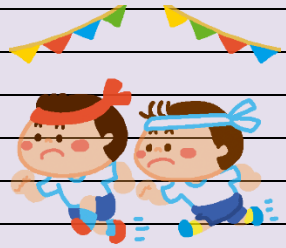
(1) **子どもの立場**に立って考える保育を目指し、**一人ひとりを大切**にし、心の安定と健やかな成長を援助します。

(2) 豊かな自然環境と子どもたちに優しい地域性を生かし、**体験活動を中心**に社会生活に必要な基本的な力を育みます。

(3) 園と家庭が手をつなぎ、豊かな信頼関係を基に**「何でも相談できる保育園」**を目指します。

◆ 年間行事

4月	入園進級の集い、定期健康診断、お花見、遠足
5月	ふれあい運動会、こいのぼり製作
6月	歯科検診、個人面談、時計づくり、虫歯予防デー
7月	七夕、水あそび
8月	水あそび
9月	お月見(お月見だんごづくり)
10月	遠足、定期健康診断
11月	生活発表会、いもほり
12月	クリスマス会、お店屋さんごっこ、クリスマスの製作
1月	お正月遊び(たこあげ、こま、かるたとり大会)、参観日
2月	節分、鬼のお面づくり、カレーづくり
3月	ひなまつり会、防火杭打ち(年長)、遠足、卒園式



※毎月：誕生会、成長測定、避難訓練

◆ 一日の保育

(7:00～7:30)	早朝保育
7:30～9:00	登園(保護者の送迎、または送迎バス) 朝の支度、自由遊び
9:00～	おやつ(3歳未満児)
9:30～	朝のお集まり 体操、季節のうた、朝のうた、健康観察等
10:00～	季節、年齢に応じたその日のさまざまな活動
	戸外あそび、室内あそび、製作など
11:15～	給食(3歳未満児)
11:45～	給食(3歳以上児)
～14:30	午睡
14:45～	おやつ
15:20～	帰りの支度、帰りのお集まり
15:45～18:30	降園(保護者の送迎、または送迎バス)
(18:30～19:00)	延長保育



「５つのめざす子ども像」の具体取組

（１） 自分が好きな子（自己肯定感を高める）



○「ほめほめタイム」の設定・・・・・・・・一日の振り返り

時間：帰りのお集まり

方法：①今日の自分のよかったところを発表する。

②今日の友達のよかったところを発表する。

約束：必ず①か②のどちらかを発表する。

静かに聞き、終わったら拍手をする。　※明るく楽しい雰囲気で

（２）思いを伝える子（表現力を高める：聞く力も鍛える）

○「あのねタイム」の設定・・・・・・・・一文程度の短い文からスタート

時間：休み明けの月（もしくは火）

方法：①週末の出来事や楽しかったりしたことなどを全員に話す。

「～したよ。」「～して楽しかったよ。」等の短い文でよい。

②自信をもたせるように、小さな声や言えなくても認める。

③徐々に言えるようになったら、周りの子から「もっと聞いてみたいこと」を聞いて、応えていけるようにする。

※話すことができた子には、しっかりと誉める。話すことが苦痛にならなく平気に話せるようにしていく。（話すことは当たり前）

約束：話すことがない子や、みつからない子は無理に話させることはしない。

（自分から話してみたくなるまで待つ）

（３）思いやりのある子（思いやりの心＝感謝の心を育てる）

○「感謝の言葉をいっぱいに」・・・・・・・園内でたくさん聞けるとよい



時間：日常の園生活の場面

方法：先生、友達に　何かしてもらったら「ありがとう」

うれしかったら「うれしいなあ」

相手を傷つけたら「ごめんなさい」

※先生（職員）からお手本を示す。

○「感謝の日」・・・・・・・・・・公共施設等に出かけ、感謝の言葉を

ファミリーデー、敬老の日、勤労感謝の日等

・警察署、交流センター、郵便局へ訪問

・家族の人へプレゼントづくり

（４）自分のことは自分でできる子（自立：食事　着替え　排泄　）

○「なかよし給食」の設定・・・・・・・・園児全員で一緒に給食

月１回のお誕生会・お楽しみ会の日の給食

毎日、プレイルームで３～５歳児・職員が一緒に食事をする。

※　異年齢児が一緒に食事をすることで、自立心を育てる。

◎　人の嫌がることはしない。
◎　危険なことはしない。

（５）自分で判断・行動できる子（判断力＝善・悪）

○「自己決定・自己選択の場」の設定・・・自分で納得する

ポイント①見逃さず、曖昧にせず、分かりやすく

②職員が先に答えを言わない。「どうしたらよかった？」「先生はこうしたらよかったと思うけど、○○さんはどう思う？

◆ 佐賀保育園１０の取組



１　環境整備
・四季の花づくり

２　野菜づくり
・さつまいも、玉ねぎ、
キュウリ、トマト、枝豆他



３　バス、船遠足
・遠足（佐合島等）



４　クッキング
・カレー、お月見団子づくり等

５　絵本の読み聞かせ（おはなし会）
・年間３回



６　地域の方、佐賀小児童と交流
・佐賀コミュニティ、小学校と連携
・つくし会（三味線）

７　体力づくり
・なわとび　　・鉄棒

８　ほめほめタイム
・帰りのお集まり時に、よかったこと発表



９　あのねタイム
・週初めに週末の出来事発表

10　なかよし給食（全員での給食）













＜園児や保護者にとっても安心・安全に生活できて信頼のある保育園となるために＞

≪佐賀保育園職員全員が心掛ける１０の行動方針≫

佐賀保育園職員は

１　笑顔であいさつ、笑顔で働こう

２　感謝・思いやり・謙虚な気持ちで働こう

３　安全・安心を第一に働こう

４　ほめ上手・認め上手になろう（役者になったつもりで）

５　肯定的な言葉掛けをしよう

６　感情的にならず、必要以上に大きな声を出さないようにしよう

７　誰もが一貫した対応をしよう（情報の共有化が必要）

８　全体を見つつ、個に意識を向けよう（小規模園のよさ）
※ 見る　観る　診る　看る　視る

９　整理整頓をし、清潔な環境づくりをしよう
※ 内外の環境を整える

10　積極的に研修に努め、スキルアップに心がけよう

☆ 子ども中心の保育に努めよう
☆ 専門職であるという自覚と意識をもとう
☆ いつ誰に見られても恥ずかしくない保育と保護者支援を提供できるようになろう
☆ 「子どもにとって」「保護者にとって」の視点で共感的な立場で考えよう